

特集号

緑ネット通信 No.76

緑のネットワーク・まつど

代表：藤田 隆
年会費：1000円
口座番号：00170-9-696174
連絡先：高橋盛男 090-2935-9444

都市の緑を残すためには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動の目的は、みどり特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。

第10回 オープンフォレスト in 松戸

オープンフォレスト 10 回目は3年ぶりの春開催となりました。参加された皆さんは、森で味わう開放感を待ちわびていたかのよう。天候に恵まれない日が多かったのは残念でしたが、それでも 1325 人の市民がまつどの森を楽しみました。



新しいガイドブック「まつど森ずかん」は、入門講座 19 期生の中根さんとそのお友達のイラストレーター ちい福さんが 全面的に協力して下さって完成したものです。可愛いね！と大好評。これから松戸の森は若い人たちによって、キット守られていくだろうという予感が…

スタンプラリーは大好評

ハケ崎の森では会員の紹介で近隣町会の方が大勢みえました。また、新メンバー提案の「スタンプラリー」が好評でした。これは森のクイズに答えながら切り株に置かれたスタンプを集めて、プレゼントに挑戦するもの。近所の学童や保育園に森版チラシを配布したのが功を奏したのか、オープンの10時前から子どもたちが家族と一緒にやって来て、楽しい一日を過ごしていきました。



今年のオープンフォレストは5月14日～22日の9日間。各森での新たな取り組みや、広報の成功によるにぎわいなどが目立ちました。

ガイドは大忙し

関さんの森・・・まず樹齢100年以上の古木が多い庭をゆっくりあるき、みどり溢れるすがすがしい空気を味わいます。また江戸時代の蔵には昔の生活道具や農機具が展示されていて、手にもって体験できる物もあります。庭を一回りするとすぐ次のグループをご案内、休憩する暇もなくこれを繰り返しました。4人のガイドがフル回転の3時間、訪問者総数はなんと過去最多の73名でした！



キッチンカー出店

紙敷石みやの森では今年もハンモックや丸太渡りなどで自然と触れ合う親子の姿でにぎわいました。森の外にはカフェームに乗り、鎌ヶ谷市にあるカフェのキッチンカーがやってきました。カフェの常連さんたちも「初めて森に触れた」とみどりに親しんでいました。



楽しすぎて・・・

野うさぎの森ではキッズエリアの遊具、バトミントンネット、工作コーナー（小枝のツリー、小枝のリリアン、竹のクモの巣、竹の知恵の輪）、春のビンゴカードなど盛りだくさん。楽しくて、終了時間を延長するほどでした。



幼稚園児がやって来た

しんやまの森は公開日は雨にたたれましたが、期間中に幼稚園児がやってきて、森を満喫。にぎやかなひとときとなりました。



ミニコンサートも

囲いやまの森では、会員の友人がミニコンサートを開演。澄んだ歌声が森の中に流れ、ウグイスの鳴き声と響きあっていました。



エビネ



スイカズラ

大切に守り育てる…

「ようこそいらっしゃいませ」とお客様を出迎えるスタッフ。所有者さんがとても大切に守り育ててきた樹林地、次世代につなげていきたいという、三吉の森・立切の森です。



生きものがいっぱい

22日紙敷みなみの森には74名ものお客様、子どもたちは虫なら何でも追いかけて大はしゃぎ。竹チップの山の中からトカゲも見つけました。



駅からご案内

15日は東松戸駅から小浜屋敷の森・甚左衛門の森へ20名の方をご案内しました。小浜屋敷の森ではヤマボウシやガマズミ、スイカズラ、キンランの花が待っていました。グリーンアドベンチャーのパネルやハンモックを設置し、楽しんでいただきました。



今年のオープンフォレストは、普段からのお付き合いの繋がりや広がりによって賑わったように感じられました。新しい「森ずかん」の効果もあつたようです。さすがの10年目！でした。



スラックライン

公園の中で…

縄文の森では「森の写真館」ハンモック、森の案内、工作など…公園のイベントから流れてくる人たちにぎわい、いずれも好評でした。



樹木探し迷路

甚左衛門の森ではお隣の森から案内されて大勢のお客様がやって来ました。ガイドマップに沿って「妖怪の木」「竜神の木」「T レックスの木」「イタチの木」「森の回転寿司」…などなど、特徴的な樹木をさがして歩くうち、森の不思議に包まれていきます。

